



3月の道議会第1回定例会で代表質問

旭川など道北6市がユジノで道北物産展 知事も積極交流

ロシア・サハリン州と道が今年、友好・経済協力提携15周年を迎えました。これと軌を同じくして旭川を中心に留萌、稚内、紋別、士別、名寄の道北6市が9月7、8日にユジノサハリンスク市で道北物産展を開催しました。領土問題解決へ国をあげた外交が展開される中、北方四島を抱え、ロシア極東地域

に近い北海道こそ、こうした地域との交流促進は極めて意義があります。こうした意味を踏まえた道議会の代表質問に対し、高橋はるみ知事は「自身の訪問を含めて積極的な役割を果たしていく」と答弁。道北物産展に先立ち6日に北海道・サハリン州知事会談が行われ、記念イベントが同日から3日間、ユジノサハリンスク市で行われました。

高等養護学校2016年度設置へ要望活動

「旭川市への道立特別支援学校誘致期成会」とともに7月17日、道教委を訪れ高等養護学校の「1年でも早い設置」を要望しました。昨年度の道教委の配置計画では、目標の2014年度開設が見送られ、異例の注記で開設を担保することになりました。

旭川市では高等養護学校入学希望者が2016年度にピークを迎えることが予想されています。道教委の立川宏教育長は、昨年度の配置計画に異例の注記を入れたことに触れ「希望者の在籍状況や進路を踏まえて整理し2016年度の整備に努力したい」と答えました。

関係者の負担や子どもたちの社会参加を考えると、道北の中核都市旭川に高等養護学校は必要です。旭川市は出来るだけ早い段階から準備のための補正予算を計上したい意向。市民のみなさんの期待に応えるべく全力を尽くしていきます。



道教委に早期設置を要望

設計労務単価が平均15～20%上昇

建設業とその関連業に従事する労働者、中でも交通誘導員の労務単価が低く抑えられ必要経費も確保されていない問題について道議会で質問してきました。自公政権に交代したことも奏功し、この4月、公共工事設計価格の積算基準が改定され、2013年度は前年度比で労務単価が15～20%上昇しました。昨年10月に行った調査に基づく改定です。東北の被災地復興での人件費の上昇が全国的な単価上昇をリード、社会保険の加入を現場に徹底したことも要

公約実現へ議会で質問、調査・視察活動に全力！